

つついっ子見守り隊



【筒井学区】

■世帯数：4,007 世帯

■人 口：7,972 人

■面 積：0.742 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

個人による活動

学校まで健康づくりを兼ねた児童の送迎などを、当番を決めずにできる人
ができる時に行う。

集団による活動

①巡回見守り

- ・毎月第3木曜日に児童と一緒に巡回パトロールを行う。
- ・犯行を起こしやすい環境（危険箇所）の点検、およびその周辺で不審者の
見張りを行う。

②拠点見守り

- ・犯行を抑制するため、児童の登下校時間に合わせて、自宅周辺や街角で、
犬の散歩や庭の水やりなど、日常の活動を行いながら児童の周辺を見守る。

【住民へのPR方法】

チラシの回覧と、自治会長からの呼びかけ

【アピールポイント】

活動を通じて、地域の様々な犯罪（ひったくり・家屋侵入・放火など）の防止に役立っている。また、近所の方とのふれあいや、会話の機会も増えて連帯感も強まり、防災面でも助け合いの機運が生じ、安心して暮らせるまちづくりに大きな役割を果たしている。

2 きっかけ、背景

事業検討当時、他府県で登下校中の児童が誘拐される凶悪事件が発生し、当学

区での児童に対する安全対策を調査したところ、手薄な事が判明した。学区連絡協議会で小学校へ防犯ブザーを贈呈、子どもの家設置者との意見交換を行うとともに、大人の監視によって犯行をためらう状況を作ることが大事と、グループを結成した。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、女性団体・女性会、子ども会、老人クラブ、スポーツ推進委員、地域住民
計約 170 人

(2) 他団体との協力

学区内の各種団体

(3) 運営協力

協力者については、自治会長に補充を依頼。

4 実施のスケジュール

H17 年 連絡協議会定例会に子どもの安全確保の取組の是非を提案
12 月

H18 年 2 月
・児童の登下校安全対策活動の骨子を定例会に提示
・筒井小学校長に活動の内容を説明
・グループの名称、識別用品の帽子、ネームプレートたすき、腕章のデザイン決定

3 月
・協力者の募集を組回覧で行う
・見守り隊結成式について区役所、警察署、学校と協議・調整

6 月
14 日に筒井小で結団式。協力者 100 人参加 4ブロックに分けパトロール

5 成果と課題

(1) 成果・効果

活動に参加する事により、協力者の間に交流が深まり、地域の連帯感が醸成されつつある。

(2) 苦労した点

定例会での検討段階では、「責任を負いたくない」、「警察の仕事ではないか」、「危険である」、「仕事があってできない」、などの反対があったが、活動は拘束しないこと、学区連絡協議会の事業とすることを示し、了解を得た。

(3) 今後の課題・展望

活動の継続が課題。児童の在学中は、その保護者等が協力者になっているが、卒業後は関心がうすれ、自然に活動に不参加となるのが悩みである。

(4) メッセージ・アドバイス

学区の安心・安全なまちづくりのひとつに位置づけ、学区連絡協議会の事業とすることにより実施することができた。必要経費の執行も直接行う事ができる。PTA や子ども会に任せようとしたが、地域の一般住民に協力を求めるには区政協力委員、あるいは自治会長の立場を利用した方が実効性がある。